

日刊 動労千葉

84. 4. 18

No. 1620

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

運輸保安確立にむけ 対策委を設置

木更津支部第六回定期委員会は、四月五日、支区講習室において開催され、3・25三里塚現地集会の大成功の地平にふまえ、熱気あふれる討論を行い、闘う方針を決定した。

「3・25」勝利にふまえ、さらに前進を

――斉藤支部長あいさつ――

定期委員会は、滝口教宣部長を司会にはじめられ、冒頭あいさつに立った斉藤支部長が、3・25三里塚の勝利の意義を鮮明にし、本定期委員会の視点を、①84春闘、②内達―動乗勤問題、の二点にしぼり、この闘いの中から、「60・3ダイ改」阻止の情勢を切り拓いていくことが重要であることを明らかにした。

続いてあいさつに立った本部・西森乗務員会長は、84春闘をめぐる情勢、動乗勤を中心とする状況を明確にし、

①乗務員の勤務問題。②業務上過失事故の扱いに関する問題等を示した。討論に入り、

①84春闘の中での動労千葉のしめる位置。②運輸保安に対する現在の当局の姿勢は問題である。特に、施設関係の対応がこの問題を一層悪くしている。③3・30の平野氏の事故を我がものとし、この怒りを当局に叩きつける必要がある。④55年予科生の学園入学時期について。⑤期末手当について。⑥E C転換について。⑦60・3を支部としてどう闘っていくのか個人個人が今や問われている。⑧地区労との関係について。等、全員が参加しての熱の入った意

4/5 木更津支部
第6回 定期委員会

支部通信員・発

運輸保安対策委の設置を決定

本定期委員会の方針で、過去の大会―定期委員会と決定的に違うのは、運輸保安面について対策委員会を設けたことである。その運輸保安対策委員会の役割は、

①詳細な線路図を作成し、危険箇所、危険踏切等の日常的な報告、連絡体制を密にする。②学習会を組織する。我々は今こそ、斬新かつ効果的な方法を駆使し、運輸保安確立へ向け闘い抜く決意である。

勝利争闘ジェット塚三里 / 砕粉革行・調臨

動労本部の裏切りをのりこえ 動乗勤改善を闘いよう

第十八回新小岩支部委員会は、四月十日、十二時より講習室において執行委員、支部委員二三名、本部より布施書記長、関特別執行委員を迎え、議長に小倉氏を選出し開催されました。

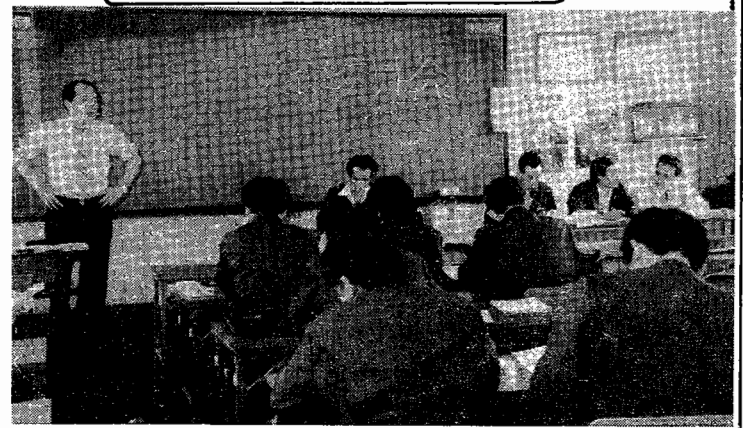
「3・25決起」「動乗勤―運輸保安」等の総括、今後の方針で討論

最初に挨拶に立った布施書記長は、「3・25 三里塚五割動員は、ストライキに匹敵する集会として、春闘の突破口として最大の動員を行い、動労千葉の団結力を内外に示す事ができた。内達―動乗勤について、動労『本部』はまたも早々と片仕切りを行って裏切ったことは許せない。動労千葉は、トップ交渉等での追い込みをかちとった上で、四月五日に大筋集約を行った。

次期ダイ改、その他の状況を考えると仕切らざるを得なかったが、今後は動乗勤改善に向けて頑張りたい。又、運輸保安問題では、『3・30事故』について、我々が何度も改善を要求していたのに、そのままにしていた当局に責任があり絶対に許さず、徹底的に闘って行く。春闘については、政治がらみの構造なので、国鉄の場合、不当な格差、合理化強要、賃金おさえこみを許さず、中曾根の臨調攻撃打破の観点で闘いを強めよう」等、と質問に込める形で挨拶がなされました。

続いて、一九八四年度暫定予算案は、

支部通信員・発



新小岩支部定期委員会

執行部提案通り承認され、当面する取り組みについて、①春闘は今後の情勢によって対処できる態勢をとる。②家族会の結成については本部の指導もあり早急に結成できるよう努力する。③職場集会を開いて動乗勤問題、運輸保安等についての討論を深めるなどを決定し、十六時に閉会しました。

よ砕粉攻撃組織破壊で団結強固な家族・組合員全